

令和3年度 上笹下地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

上笹下地区は磯子区の南部に位置した南北縦長の地域で、面積は区内最大となっています。円海山や大岡川の清流など、恵まれた自然環境があり、夏には、今ではでは珍しくなった蛍の観察ができるなどの磯子区民の憩いの地域を有しています。昭和40年代に開発された大規模集合住宅、大手不動産メーカーが開発整備した、宅地が混在しています。南北を縦断するように笹下釜利谷道路が走っていますが、そこから一步入ると、坂や狭い道が多く、高低差があり、公共交通機関も充足しているとはあまり言えません。上笹下地区全体の高齢化率29.9%と進行。氷取沢町では40%を超えるなど、特に高齢化が進行しています。高齢者の一人暮らし、高齢の夫婦のみといった世帯が増えてきています。新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う自粛生活から体調を崩される方、膝や腰に問題等を抱え、外出が難しいと感じられる方が増えると予想され、介護予防の取り組みが益々重要になってくると考えられます。南北に縦長という地区の特徴やケアプラザの立地場所から、ケアプラザへ足を運ぶことが難しい、ケアプラザの事を知らないと言う人はまだまだ多く、幅広く周知活動を継続していく必要があります。新しい生活様式に伴ったICTを活用し、幅広く周知活動を行っていくと共に、社旗資源の発掘・育成、地域企業との共創を図り、年を重ねても済む慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築を目指していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢化の進んでいる氷取沢地区で介護予防教室を開催、高齢者自身が地域において自立した日常生活を継続して送れるように支援して行く
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域住民による知識や経験を活かした、個別スマホ相談会を開催
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	作品展を開催、地域住民・団体の作品を募集。ケアプラザ内に展示し交流の機会を図ると共に得意な事で社会参加・地域活動に参加できるきっかけと場の提供
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度は感染症の対策を講じながら、可能な限り、事業を中止することの無いよう、各種事業に取り組んで来ました。①健康に対して意識が高い方を中心に講座参加を呼びかけ、コロナ禍で自粛生活を送っている方に対して介護予防の知識を広めていけるように取り組んできました。②地域のボランティア講師やパソコンサークルの方にご協力を頂き、スマホ相談会等を開催。操作方法などの困りごとに対して相談できるような体制作りをしました。QRコードを利用した事業の予約システムも導入し、幅広い年齢層に対してケアプラザへの事業にアクセスしやすいう努めました。③作品展を開催し、ケアプラザに来たことがない人に足を運んでもらう・知ってもらうきっかけ作りを行いました。出展者からは次回に対する創作意欲の声も聞かれ、自粛生活の中でも趣味活動を楽しみ社会参加を促すきっかけ作りにつながったのではないかと思います。来年度も一つ一つの事業をつみ重ねながら、ポジティブエイジングへの後押しが行けるように努めていきます。

区からのコメント

感染症対策をしながら可能な限り事業に取り組んでいただいていると思います。地域のボランティアを生かしながらスマホ相談会を実施し、ケアプラザ事業のQRコードを利用した予約システムにも取り組む等、コロナ禍の中でも新しい展開があったことは良かったことと思います。ここ2年ほどは地域の方々は事業が思うようにできていない部分が多いと思いますので、積極的に向かい合う等々で地域事業や担い手の情報収集を進め、工夫して実施するための相談や滞っている取組への声掛け等をお願いします。

民生委員の方々のご尽力もあり、「エリア別支援チーム会議」にて連携を深められていることは、非常に重要なことだと感じます。また、これまでも構築されてきた、介護施設、介護事業所、民間企業等の関係機関とのネットワークをさらに深めて、認知症支援、権利擁護、介護予防、生活支援等の取組をさらに発展していければと考えています。